製本版 + ebook

官能検査（官能評価）入門

イチからやさしく理解できるハンドブック
触覚を中心としたヒトの五感を通じて、製品の魅力を高めるために。

スマホ・携帯で詳細が見れます！

発刊日	2020年11月27日
体裁	B5判 並製本＋PDF 約70頁
ISBN	978-4-86428-202-4　C3058

価格　:11,000円（本体10,000円+税）
⇒S&T会員:10,450円（本体9,500円+税）

早期割引価格
発刊日までの予約期間申込みが対象
価格　:9,680円（本体8,800円+税）
⇒S&T会員:9,196円（本体8,360円+税）

※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。

著　者　信州大学　名誉教授　西松 豊典　氏

ご専門:人間工学, 製品快適性評価
研究分野:感覚計測工学、繊維製品快適性評価法、人間工学

目　次　※現在編集中のため、目次の一部が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

第1章 官能検査を行う五感について
1. 五感への刺激から脳で認知へ
2. 視覚の特徴
3. 触知覚の特徴
4. その他の感覚の特徴

第2章 官能検査（官能評価）とは
1. 官能検査（評価）とは
2. 官能検査の目的
3. 「心地」を数値化するには

第3章 JIS規格にもとづく官能検査の実施方法
1. 官能検査のJIS規格
2. 官能検査方法の選定に役立つ各試験法の長所と短所
3. 評価者（パネル）の選定基準と感度試験
4. 評価形容語の選定について
5. 評価試技について
6. 官能検査を行う検査室と環境条件
7. 予備実験の官能検査の目的と効果

第4章 経験がものをいう実施ノウハウ・注意点
1. なぜ予備実験を実施すべきか
2. 評価試技の重要性
3. 評価形容語の数, 官能検査時間の上限の目安はあるか
4. 最初に提示する評価基準品の決め方
5. 評価者の年齢と性別について
6. 評価者数は何人くらいが良いか
7. 評価者が幼いとき（小学生など）の工夫
8. 官能検査終了後に評価者へたずねておくべきこと
9. 評価形容語の集め方
10. 評価形容語を官能検査用紙に載せるときの注意点
11. 「ざらざらした」の反対形容語は？
12. 評価尺度は何段階で設けるべきか
13. 評価者から評価形容語の意味を聞かれたら
14. 評価形容語の意味が伝わりにくいときの対処法
15. 試料の置き方および提示順序
16. 試料を見て触るか, 見ないで触るか
17. 試料のなで方や触り方を定める
18. 試料が10点以上のとき
19. 実験環境（個室・円卓）の使い分け
20. 試料数が2種類のときも一対比較法を用いるか？
21. 官能検査から求めた多数のデータをまとめるには
22. 判定基準の妥当性の確かめ方
23. 回答データの精度を落とす盲点

第5章 官能検査実施例
第1節　店舗における市場調査（評価形容語の選定, 試技の選定）～アパレルウエアの「着心地」の数値化～
はじめに
1. 上衣の「着心地」官能検査方法
2. 人体と上衣間における衣服圧の測定
3. 上衣の試技時における筋活動量測定
4. 上衣の「着心地」評価結果と衣服圧・筋電図との関係

第2節 展示会来場者（一般消費者）による官能検査（性別や年齢の影響）～自動車表皮布の「手触り感」の数値化～
はじめに
1. 自動車シートに関するアンケート調査
2. 表皮布の「手触り感」評価形容語
3. 「手触り感」官能評価方法および結果について
4. 表皮布の物理特性の測定
5. 表皮布の物理形容語評価結果と表皮布の物理特性との相関関係
6. 「手触り感」の予測式の提案
7. 表皮布の「手触り感」と自動車シートの「座り心地」との相関関係

第6章 近年の官能検査活用における方向性～機器測定で得た物理特性と「心地」との関係～
1. 「硬軟感」に関連する圧縮特性
2. 「粗滑感, 乾湿感」に関連する摩擦特性
3. 「ストレッチ感」に関連する引張り特性
4. 「動きやすさ」に関連するせん断特性
5. 「動きやすさ」に関連する曲げ特性
6. 「温冷感」に関連する温熱特性

第7章 官能検査でよく用いる用語
○ 一意性の係数 ξ　○ 一致性の係数 W
○ 一致性の係数 u　○ 一対比較法　○ イメージ形容語
○ 因子分析　○ 浦の変法　○ 感覚尺度
○ 官能検査（官能評価）　○ 危険率　○ 組み合わせ効果
○ シェッフェの原法　○ 試技・評価試技　○ 刺激閾
○ 重回帰式　○ 重回帰分析　○ 主効果　○ 主成分分析
○ 順位法　○ 順序効果　○ 精神物理学（psychophysics）
○ 精度　○ 絶対判断　○ SD（セマンティック・ディファレンシャル）法
○ 専門家パネル　○ 単極尺度　○ 中心化傾向
○ 特徴形容語　○ 中屋の変法　○ 2点嗜好法　○ 認知閾
○ 芳賀の変法　○ パネル（評価者）　○ 評定平均点
○ 疲労　○ 布の風合い　○ 物理形容語　○ 分散分析
○ 弁別閾　○ 平均嗜好度　○ マグニチュード推定法
○ 末端効果　○ 両極尺度　○ 有意差検定

付録章 官能検査実施例と使用した検査用紙
・SD法　・一対比較法

あとがき

ebookとは

閲覧アカウント数	■アカウント数：5　※購入者以外に最大4アカウントまで追加可能(無料)　■閲覧可能PC数　：2台／1アカウント（同一アカウントに限る）		
フォーマット	PDF(コンテンツ保護のためアプリケーション「bookend」より閲覧)　※このebookは印刷不可・コピー不可です。		
対応OS・デバイス	Win・Macの両OS、スマートフォン・読書端末(iPhone,iPadなど)	閲覧期間	無期限　オフライン閲覧可能
注意事項	1. ebookのダウンロードは、S&T会員「マイページ」内で行いますので、S&T会員登録が必須です。 2. 閲覧には、アプリケーション「bookend」のインストールが必須です(管理者権限はいりません)。 3. 購入後に閲覧者を追加・変更することも可能です。 ※bookendとは、bookend サービスで提供されるコンテンツを閲覧するための「閲覧＆書庫アプリケーション」です。		

書籍申込用紙

☐ 製本版＋ebook（EB033）

会社名 団体名			
部　署			
役　職		住　所	〒
ふりがな			
氏　名			
TEL		FAX	
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

購入冊数　　冊

今後のご案内　☐にチェックをご記入ください。
☐E-mail希望・登録済み
☐郵送希望・登録済み
☐希望しない
} S&T会員価格を適用いたします。(E-mailアドレス必須)

振込予定日　　月　　日

通信欄

●申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、閲覧方法と請求書（製本付の場合は＋書籍本体）をお送りします。未発刊のものは発刊後にお送りします。
●お支払いについて
代金は銀行振込にて、原則として
商品到着後1ヶ月以内にお支払いください。
原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●クーリングオフについて
ebookにつきましては、クーリングオフが行えません。
製本版も同様です。
●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、
事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
●その他
送料は当社が負担いたします。試読はできません。
書籍により製本付をご準備しております。

※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

サイエンス＆テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188　FAX 03-5733-4187
〒105-0013　東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com

FAX 03-5733-4187　HPからもお申込みができます　検索サイトで　**EB033　官能検査入門**　で検索!

目　次

第1章 官能検査を行う五感について
1. 五感への刺激から脳で認知へ
2. 視覚の特徴
3. 触知覚の特徴
4. その他の感覚の特徴

第2章 官能検査(官能評価)とは
1. 官能検査(評価)とは
2. 官能検査の目的
3.「心地」を数値化するには

第3章 JIS規格にもとづく官能検査の実施方法
1. 官能検査のJIS規格
2. 官能検査方法の選定に役立つ各試験法の長所と短所
   2.1 順位法
   2.2 一対比較法
   2.3 SD 法
3. 評価者(パネル)の選定基準と感度試験
   3.1 評価者(パネル)について
   3.2 パネルの判定能力をどのようにして検定するか?
      3.2.1 一巡三角形と一意性の係数
      3.2.2 一致性の係数
4. 評価形容語の選定について
5. 評価試技について
6. 官能検査を行う検査室と環境条件
7. 予備実験の官能検査の目的と効果

第4章 経験がものをいう実施ノウハウ・注意点
1. なぜ予備実験を実施すべきか
2. 評価試技の重要性
3. 評価形容語の数,官能検査時間の上限の目安はあるか
4. 最初に提示する評価基準品の決め方
5. 評価者の年齢と性別について
6. 評価者数は何人くらいが良いか
7. 評価者が幼いとき(小学生など)の工夫
8. 官能検査終了後に評価者へたずねておくべきこと
9. 評価形容語の集め方
10. 評価形容語を官能検査用紙に載せるときの注意点
11.「ざらざらした」の反対形容語は?
12. 評価尺度は何段階で設けるべきか
13. 評価者から評価形容語の意味を聞かれたら
14. 評価形容語の意味が伝わりにくいときの対処法
15. 試料の置き方および提示順序
16. 試料を見て触るか,見ないで触るか
17. 試料のなで方や触り方を定める
18. 試料が10 点以上のとき
19. 実験環境(個室・円卓)の使い分け
20. 試料数が2 種類のときも一対比較法を用いるか?
21. 官能検査から求めた多数のデータをまとめるには
22. 判定基準の妥当性の確かめ方
23. 回答データの精度を落とす盲点

第5章 官能検査実施例
第1節　店舗における市場調査(評価形容語の選定,試技の選定)
～アパレルウエアの「着心地」の数値化～
はじめに
1. 上衣の「着心地」官能検査方法
2. 人体と上衣間における衣服圧の測定
3. 上衣の試技時における筋活動量測定
4. 上衣の「着心地」評価結果と衣服圧・筋電図との関係

第2節 展示会来場者(一般消費者)による官能検査(性別や年齢の影響)
～自動車表皮布の「手触り感」の数値化～
はじめに
1. 自動車シートに関するアンケート調査
2. 表皮布の「手触り感」評価形容語
3.「手触り感」官能評価方法および結果について
4. 表皮布の物理特性の測定
5. 表皮布の物理形容語評価結果と表皮布の物理特性との相関関係
6.「手触り感」の予測式の提案
7. 表皮布の「手触り感」と自動車シートの「座り心地」との相関関係

第6章 近年の官能検査活用における方向性
～機器測定で得た物理特性と「心地」との関係～
1.「硬軟感」に関連する圧縮特性
2.「粗滑感,乾湿感」に関連する摩擦特性
3.「ストレッチ感」に関連する引張り特性
4.「動きやすさ」に関連するせん断特性
5.「動きやすさ」に関連する曲げ特性
6.「温冷感」に関連する温熱特性

第7章 官能検査でよく用いる用語
○ 一意性の係数 ζ
○ 一致性の係数 W
○ 一致性の係数 u
○ 一対比較法
○ イメージ形容語
○ 因子分析
○ 浦の変法
○ 感覚尺度
○ 官能検査(官能評価)
○ 危険率
○ 組み合わせ効果
○ シェッフェの原法
○ 試技・評価試技
○ 刺激閾
○ 重回帰式
○ 重回帰分析
○ 主効果
○ 主成分分析
○ 順位法
○ 順序効果
○ 精神物理学(psychophysics)
○ 精度
○ 絶対判断
○ SD(セマンティック・ディファレンシャル)法
○ 専門家パネル
○ 単極尺度
○ 中心化傾向
○ 特徴形容語
○ 中屋の変法
○ 2点嗜好法
○ 認知閾
○ 芳賀の変法
○ パネル(評価者)
○ 評定平均点
○ 疲労
○ 布の風合い
○ 物理形容語
○ 分散分析
○ 弁別閾
○ 平均嗜好度
○ マグニチュード推定法
○ 末端効果
○ 両極尺度
○ 有意差検定

付録章 官能検査実施例と使用した検査用紙
・SD法
・一対比較法

あとがき

※現在編集中のため、目次の一部が変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。